

「 食べること 育つこと 」

K

小児科医

NPO You a Family Club のキャンプでは、食事にたっぷりと時間がとられている。子どもから大人までがモグモグと口を動かしている光景はいつ見ても良いものである。

これまで“食育”と言うと、『医療費高騰！だから病気にならないで』という政治的なニュアンスを感じ、なんだか“お節介”で苦手だった。最近思うところがあり、栄養学を勉強し直して気づいたことがある。実は、食育は行政的に各ライフステージで実践されるようにプログラム化されているのである。青年期(18～29 歳)、壮年期(30～49 歳)、中年期(50～ 69 歳)、高齢期(70 歳以上)に応じて目標設定がなされている。

発達支援は子ども時代にのみ実践されるもの、と解釈していたが。発達支援は“食育”と同様に、老若男女の自己学習必修選択課目と捉えた方が自然だ。

今年で 10 年目の節目を迎えた NPO You a Family Club のキャンプ、まさにこれからである。



(R・H 作)